



芹沢光治良記念文化財団“マグノリアの会”主催
芹沢光治良生誕128年
「芹沢光治良と音楽と・・・」
～講演と歌の調べ～

■日時 令和6年06月22日(土) 14:00~16:00

■会場 サロン・マグノリア (東中野)

〈プログラム〉

【開会】14:00

代表理事挨拶 勝呂 奏

【一部】

「芹沢光治良と音楽」

- ・光治良が聞いた音楽、見た映画、オペラ。
- ・講師 豊田英文

《休憩 (15分)》

【二部】

「歌の調べ」

- ・芹沢文子
- ・デュパルク
- ・プッチーニ

野田 ヒロ子

“アヴェ マリア”

“悲しき歌”

「トスカ」より

“歌に生き、愛に生き” 他

【三部】

- ・参加者と交流

【閉会】16:00



©TAKUMI JUN

以上

『野田ヒロ子紹介』

岩手県盛岡市出身

東京音楽大学卒業、同大学研究科修了。大学受験時から芹沢文子に師事。

1996年から2002年までイタリアのヴェローナに留学。

1998年東京国際声楽コンペティション優勝。

ブタペスト国際声楽コンクール第2位。

ハンガリー国立劇場『ラ・ボエーム』ミミでオペラ・デビュー。

2002年 第38回日伊声楽コンクール優勝。

2003年 藤原歌劇団公演『椿姫（ラ・トラヴィアータ）』でヴィオレッタに抜擢され

日本でオペラ・デビュー絶賛を博した。

藤原歌劇団団員。東京音楽大学非常勤講師。

『ピアノ伴奏者「ジェム・オスル」紹介』

1992年にトルコで生まれました。

ウィーン音楽院とバークリー音楽大学で学びました。ロサンゼルスで9年間、ピアニスト、作曲家、教師、音楽監督として働きました。

2022年に東京に移住し、現在は洗足学園音楽大学の大学院生であり、新しいミュージカルの執筆に取り組んでいます。

『豊田英文紹介』

1979年 武蔵野音楽大学器学科チューバ専攻入学、チューバを故貝島克彦先生に師事。

1980年 アメリカテキサス州のノーステキサス大学で開かれたチューバのシンポジウム参加。

1981年 武蔵野音楽大学器楽を卒業

千葉県公立高校教員として、吹奏楽活動に深く関わり、指導したバンドでは、多くの金賞と東関東大会出場を果たした。

2005年 千葉県長期研修生として、中央大学文学部教授渡部芳紀(わたべ よしのり)先生指導のもと、1年間、「文学と音楽」芹沢光治良、宮沢賢治について研究する。

渡部先生の「宮沢賢治大辞典」の音楽について調査し、執筆する。

2012年 平成24年全日本音楽教育研究会 高等学校千葉県大会で、芹沢光治良先生の「人間の運命」の中に、書かれている能「隅田川」を用いて「哀しみと悲しみ」の公開授業を行う。

2024年3月まで千葉県公立職員として勤めた。現在は芹沢光治良文学愛好会代表

『朗読者「深澤さえ」紹介』

千葉県船橋市出身。

女優・モデル・司会・ナレータなど幅広く活躍中。





みんなで歌おう



●オーシャンゼリゼ (宍井かすみ 訳詞)

①街を歩く 心軽く 誰かに会える この道で
可愛い君に 声をかけて
こんにちは僕と 歩きましょう

②君をつれて 遊びに行こう みんなが集まるあのクラブ
ギターを弾いて 朝まで歌う 楽しく騒いで 恋をする
(※くりかえし)

※オーシャンゼリゼ オーシャンゼリゼ

いつも何か 素敵なことが
あなたを待つよ シャンゼリゼ

きのうまでは 知らないどうし 今日から二人は恋人さ
道を行けば 世界はゆれる 愛する君と僕のため
(※くりかえし)

●夏の思い出 (作詞 江間章子 作曲 中田喜直)

①夏が来れば思い出す 遥かな尾瀬 遠い空
霧の中に浮かび来る 優しい影 野の小道
水芭蕉の花が咲いている
夢見て咲いている 水のほとり
石楠花色にたそがれる 遥かな尾瀬 遠い空

②夏が来れば思い出す 遥かな尾瀬 野の旅よ
花の中にそよそよと 揺れ揺れる 浮島よ
水芭蕉の花が匂っている
夢見て匂っている 水のほとり
まなことじれば懐かしい 遥かな尾瀬 遠い空

●仰げば尊し (作詞・作曲: 文部省唱歌)

①あおげば 尊しわが師の恩
教えの庭にもはや幾年
思えばいと疾しこの年月
今こそ別れめいざさらば

②互いにむつみし日頃の恩
別るる後にもやよ忘るな
身を立て名をあげやよ励めよ
今こそ別れめいざさらば

③朝夕 馴にしまなびの窓
螢のともし火 積む白雪
忘るる間ぞなきゆく年月
今こそ別れめいざさらば

